

説明内容			達成目標（※前頁参照）																		
			気象データ理解力					ビジネス発想力					IT活用力								
			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5				
第3回	11月予定	基礎知識	気象データの全体像+気象データの入手方法	○	○																
		基礎知識	気象庁情報カタログの紹介+GRIB形式紹介	○	○	○											○				
		予報	【仮】ガイダンス(*4)の概要・特徴	○																	
			【仮】新規プロダクト(降水15時間予報)の概要・特徴																		
			【仮】ガイダンスデータの形式		○	○											○				
		観測	【仮】高解像度降水ナウキャスト/雷ナウキャスト(ナウキャスト)の概要・特徴*5	○																	
			【仮】ナウキャストデータの形式		○	○											○				
ビジネス事例	【仮】ガイダンスを用いた気象サービス例+API紹介		○	○				○	○	○											
ビジネス事例	<観光業>観光予報プラットフォームと気象データ			○				○	○	○											
第4回	1月予定	基礎知識	気象データの全体像+気象データの入手方法	○	○																
		基礎知識	気象庁情報カタログの紹介+GRIB形式紹介	○	○	○										○					
		観測	【仮】気象衛星観測関連	○																	
			【仮】気象衛星観測データの形式		○	○										○					
			【仮】推計気象分布データの概要・特徴	○																	
			【仮】推計気象分布データの形式		○	○										○					
		ビジネス事例	【仮】衛星データを用いた気象サービス例+API紹介		○	○				○	○	○									
ビジネス事例	<農業>酪農における衛星データの活用例			○				○	○	○											
会員限定	アメダス気象データ分析チャレンジ! CSV版(1日版、3日版)		○	○	○				○	○	○				○	○					
	メッシュ気象データ分析チャレンジ! GRIB版		○	○	○				○	○	○				○	○					
	確率予報データ分析チャレンジ! XML版*6		○	○	○				○	○	○				○	○					
	ビジネスマッチングイベント《企画中》											○	○								

※地震・津波、火山に関する各種情報の概要、種類、入手方法についてもセミナー内で紹介することを検討しています。

【用語解説】

- *1 アメダス：地域気象観測システム（Automated Meteorological Data Acquisition System：AMeDAS）の略称。
雨、風、雪などの気象状況を時間的、地域的に細かく監視するために、降水量、風向・風速、気温、日照時間の観測を自動的に行っている。
- *2 BUFR：世界気象機関(WMO)が規定する国際的な気象通報式で、二進（バイナリ）データとしてファイルフォーマット化して伝送する形式。アメダスなどの地点ごとの観測データの提供に利用している。
- *3 GRIB：世界気象機関(WMO)が規定する国際的な気象通報式で、二進（バイナリ）データとしてファイルフォーマット化して伝送する形式。数値予報モデルデータ、ナウキャストなどのメッシュデータの提供に利用している。
- *4 ガイダンス：数値予報モデルの結果を、実際の予報を行うにあたって利用しやすい形に置き換えたデータ。
- *5 ナウキャスト：気象レーダー等で観測された過去の降水域の動きと現在の降水の分布等を元に、目先1時間の降水の分布や、雷の可能性等を1km四方（高解像度降水ナウキャストは250m四方）で予想したデータ。
- *6 XML：気象庁で利用しているデータ提供形式の一つで、文章化された情報を中心に利用されている。機械判読に適した形式となっている。